

SHINSHU JUNIOR COLLEGE NEWSPAPER

# 信州短大新聞

# shin-tan

発行:平成25年3月15日  
編集・発行:信州短期大学広報委員会  
〒385-0022 佐久市岩村田2384  
<http://www.shintan.ac.jp/>  
印刷:(株)アオヤギ印刷

# Vol.45

## CONTENTS

- P2 …学長・学科長あいさつ／キャンパスライフ
- P3・4 …卒業記念特集 卒業生へ贈る言葉
- P5 …校友会から／介護事例発表会／2年間を振り返って
- P6 …卒業生の進路／大会結果／信陽会だより／トピックス

大学祭開催!!

# Blooming

～それぞれの花を咲かそう～



# キャンパスライフ Campus Life

## 卒業式

平成24年3月15日(木)、平成23年度卒業証書授与式が挙行されました。式終了後の卒業記念パーティーでは卒業生制作のDVD上映やshintanナンバーズ等が行われ、お世話になった先生方や友人たちと楽しく過ごしました。



## 入学式・新入生オリエンテーション

4月2日(月)、平成24年度入学式が行われました。式では、介護福祉学科の代表者に入学許可証が授与されました。4日・5日には新入生オリエンテーションが行われました。



## 開学祭

5月15日(火)、望月総合体育館にて、学友会が企画運営を行う開学祭(スポーツ大会)が行われました。学科やクラス、ゼミ、学年を越えて交流を深めました。優勝チームには豪華景品もあり、楽しいひと時を過ごしました。



## 立誓式

11月13日(火)、本学2300教室にて介護福祉学科1年次生の立誓式が行われました。立誓式の翌日から12日間、第一段階福祉施設実習を行います。実習では様々な介護サービスや介護職員の役割を学びます。式では全員で「誓いの詞」を唱和し、実習に取り組む姿勢と介護福祉士となる自覚を決意しました。



学長  
白井 汪芳

2011年4月「総合ビジネス学科」、「介護福祉学科」に元気澆刺な新入生として諸君を迎え学園が新たな活動を始めてから早くも2年が経過しました。両学科共に順調に推移し3月15日の卒業式を無事迎えることができました。これもひとえにご父兄のご支援、短期大学の学生、教職員、みんなの頑張りによるものと深く感謝申し上げます。

さて、1988年信州短期大学経営学科が開設されて以来、その時代に対応して経営情報学科、総合ビジネス学科へと幾多の教育改革を進めて地域経済界へ多くの中堅人材を輩出し高い評価を得てまいりました。しかし、短期大学を取り巻く厳しい時代の変化に耐えきれず、学校法人佐久学園が佐久地域の地域医療・福祉の先進地域を特色とし健康・福祉分野へ発展的にシフトしたことにより、総合ビジネス学科は本年度最後の卒業生を送り出すことになりました。皆さんの先輩は地域社会でそれぞれ立派に活躍し高く評価されています。この先輩たちの精神を受け継ぎ、信州短期大学の卒業生として誇りをもって立派な社会人として活躍され、健康で幸せな人生を送るよう心から健闘を祈ります。



学科長  
矢羽田 明美

本学科は今年度で第6期生を送り出します。多くの卒業生が福祉の現場で期待され、それぞれが努力し、やさしい・寄り添う介護を実践し頑張っています。

平成26年度入学生から、国家試験と医療的ケアのカリキュラムの導入により、介護福祉を学ぶ環境が大きく変化します。介護福祉士も他職種との連携や協働が一層求められ、自分の役割を認識し、利用者さんの生活支援の一部を担うことが必要となります。このような環境の変化の中で、医療・福祉分野を軸に展開される佐久大学の中で信州短期大学部介護福祉学科は、人と寄り添い、根拠に基づいた質の高い介護ができる介護福祉士の育成に力を入れ、地域の要望に応えていきたいと思っております。また、福祉先進国デンマークのやさしい介護を卒業生・在学生の力で、広く伝承し、介護が魅力的な仕事であることを位置づけていきたいと考えています。

総合ビジネス学科  
最後の卒業生の健闘を祈る!!

やさしい・  
寄り添う介護を目指して



総合ビジネス学科  
学科長

小林 啓志

All's well that ends well (終わり良ければ全てよし) と言えはシェイクスピアの戯曲ですが、私たち総合ビジネス学科も最終年度に皆さんのような学生を送り出せば「全てよし」と言っ てよいのではないかと自画自賛。



学 長

白井 汪芳

**卒業おめでとう!!**  
みなさんの2年間の努力が実りめでたく卒業し短期大学士の学位を得られますこと心から祝福申し上げます。これから船出する社会は皆さんにとって厳しいところかもしれませんが、心を高め、魂を磨くための試練の場としてとらえ、ここで学んだ学業、友人、教職員との絆を心の糧に立派な社会人に成長していくよう祈っています。



介護福祉学科  
学科長

矢羽田明美

夢と希望に向かって羽ばたいてください。これからの人生には悩むことや困難なことなど様々なことに遭遇すると思いますが、今日がだめでも明日はうまくいくと考えて、前へ、前へと進み、心豊かな人生にしましょう。学んだこの信州短期大学を忘れないでください。皆さんをいつでも見守っています。



竹下良太郎

教 授

『老子』に「知足者富」足を知る者は富むに続けて「強行者有志」勉めて行う者は志ありと説かれている。自分を知りその自分を受入れ、志を持って努力することで人はより良く生きられると老子は言っている。二千数百年前も今も変わらない。背筋を伸ばし前を向いて進もう。



土屋 武夫

教 授

いつも先を見通して、しっかりと成果を出していた皆。「こんにちは」の挨拶や研究室での雑談はうれしかった、楽しかった。卒業してもここで培った友達の「いい言葉」を大切に持ち味を活かし活躍を期待しています。



金高 茂昭

教 授

生きるということは、自律・自立して最低限以上の衣食住を確保し続ける営みだと思えます。そこには強さと優しさが必要で、不安や心配事に耐え忍ぶ力が必要です。知識と知恵と体力の向上に努め頑張ってください。



片桐 学

准教授

四文字熟語は幾年もの間に凝縮された英知と言語文化の精髓が滴り落ちた珠玉である。現代は言葉の洪水の中で生きているが時々出逢った言葉によって人生が一転する事がある。辛い時こそ学生時代の教養を紐といてみよう。



斎藤 和幸

准教授

苦しみや挫折には必ず意味がある。人として成長するために必要だから。君らはそれを乗り越える力を持っている。独りではなく生かされている喜びを感じながら、感謝と反省、報恩の心を忘れず自分の道を歩んで欲しい。



関口 昌利

准教授

巳年の春のメルヘン。蛇を助けた男の家に、恩返しに来た娘は、鶴と違い寝てばかり。春になると倍に太ったとさ。「私は蛇の化身です。冬眠したら脱皮して大きくなるの。」皆さんも目覚めよ！脱皮して大きくなろう！



加藤みち代

准教授

「もし自信をなくしてくじけそうになったら、いいことだけいいことだけ思い出せ」人生何かにつまずいた時、このアンパンマンの歌を口ずさんで気持ちを切り替えてみませんか。どうぞ前向きに生きていってください。



樋口 和洋

准教授

失敗は成功の第一歩。他人から指示され消極的に取り組んで得られた成功よりも、自分なりに創造力を掻き立て、確固たる意思を持って積極的に取り組んだ結果としての失敗は、その後、大きな成功へのきっかけになります。



三池 克明

助 教

ご卒業おめでとうございます。これからの皆さんは様々な苦労をするかと思えます。それを一つ一つ乗り越え“あの苦労があったから今の自分があるんだ”といつか振り返れる日が来ると信じ、毎日を過ごしてください。



伊藤希久美

助 教

ご卒業おめでとうございます。人と人との繋がりを大切に、現状に満足することなく、よりよい介護を目指し常に学びを重ね、多くの方に愛される専門職種者であり続ける事を願っています。

井上 晶子

今、君達一人ひとりの力がとても大切なのです。それぞれの場で、誠実に、努力を重ねてください。そして、愛する人に対して、自分の歩んだ道を“ほこりをもって語れる”そんな生き方を。

大塚 寛美

「Life Is Motion」生きていることは動いていることである」アリストテレスの言葉。体と心とあたまを、しっかりと自分の意志で動かして、社会人としての一歩を!!

岡田 真平

「健康づくり運動」が、社会に出てからの健康管理に少しでも役に立てばうれしいです。また、自分にとって大切な家族、友人のためにも活かしてください。健康は伝染します。

甲田 賢剛

今だけ、今日一日だけ、一生懸命生きよう。人生は今の連続です。今ある幸せに気がつける人になろう。今が幸せな人は明日もあさっても幸せです。皆さんがこれからも幸せでありますようお願いいたします。

小島ブンゴード孝子

青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方をいう。…歳を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。(サムエル・ウルマン作「青春」からの抜粋) これからもお互いに青春を失わず、人生を歩みましょう。

小室 清子

これからの人生は、1/2を社会に貢献し邁進する為に配分してください。そして一つ一つの出会いを大切に誠実に、大らかに進めていってください。

斎藤 順子

介護福祉士の仕事は辛いこと・きついこと・嫌なことばかりでなく、楽しいこと・やりがい・自己研鑽につながるなど様々です。応援しています。

朱芸虹

人生也像四季：“春播，夏长，秋收，冬尝。” 乘你青春焕发，努力散播幸福的种子吧 春には種をまき、夏には成長し、秋には収穫して、冬には味わう青春を謳歌し、未来へと努力していきましょう。

内藤 博幸

介護は今後ますます成長がきたいされる分野です。そこであなた方他若い介護者に期待されているのは、今までにない介護施設を発想することです。理想の施設を実現して下さい。

永井 久子

あなたがただそこにいるだけで、その場の空気が あかるくなる あなたがそこにただいるだけで、みんなのこころが やすらく そんなあなたにわたしもなりたいたい 私が大好き相田みつをさんの詩です。みなさんもうかそんな私を目指してください。

福田久美子(保健室)

飾らない自分でいられるって生きやすいし、肩ひじ張らずに済むから、とても楽。自分を見失うことなく必要以上に小さくも大きくもせず。但し向上心は忘れず持ち続け努力です。

藤沢 雅美

「可能性を信じ前に!!」でも頑張りすぎると折れてしまう。根っこを張って強風が吹き荒れても倒れないしなやかな心で新しい社会でご活躍ください。

丸山 正俊

「愚公山を移す」「人間万事塞翁が馬」「人間到るところ青山あり」など、世の中には数多くのことわざがあります。覚えたことわざはその人の「人生」を助けてくれるのです。

宮入 ひさ枝

「もしもあなたが何かを成し遂げたいと真剣に望むなら、あなたを妨げる物はこの世には何一つとして存在しない」。素晴らしい人生を歩まれんことを、ご祈念申し上げます。

宮内 克代

プライドを持とう。「エラそうに」でも「ツンケンしてる」でもなく。正しいと信じた道をぐいぐい歩く自分を誇りに思う、そんな小さくて貫いたプライドを、一人ひとりの胸に。

宮本 由香

薬が効かない病気はあっても、栄養が効かない病気はありません。楽しい食事は明日への活力です。家族や友達、職場の皆さんと一緒に、楽しくおいしく食べる時間を大切に。

メディカル秘書担当教員

皆さんと共に学べたこと幸せに思います。これからは自分自身で決断し行動しなければなりません。大切なのは自分にあった歩幅で決して背伸びすることなく確実に歩むことです。

桶田 真吾

歩む道は何本もある。道に迷えば新しい道を知ることができる。行き止まりは展開への第一歩が踏み出せる。危ぶむことなかれ。危ぶめば道は見えない。



藤森 大祐

皆さんとの授業はとても楽しい時間でした。学ぶ気持ちさえあれば、いつでもどこでも学ぶことはできます。より豊かで幸福な人生のために、これからも学び続けて下さい。

短大学事課

皆さんの入学は東日本大震災直後、日本はどうなるのかという時でした。早いものであれから2年が経ちますが、被災地はまだまだ多くの力が必要です。いよいよ社会人です。日本復興の一助を担う大人となってください。

大学学事課

どんな困難も志を持ち続けければ、きっと道は開けます。太陽が輝く限り光が射すように…。これから先、楽しいことや嬉しいことばかりではないと思いますが、何事も諦めず、その日その日を大切に頑張ってください。

学生支援室

就職活動、大変だったね! 本当によく頑張りました。成長を感じます。これから辛いことがあっても、君達ならきっと乗り越えて行けるでしょう。いつも応援しています!!

図書館

社会に出てからが勉強の本番です! 困ったときにはいつでも近くの図書館へ。もちろん信短の図書館も使えます!!

総務課

卒業おめでとうございます。長い人生、これから挫折感を味わうことがあると思います。決して負けてはいけません。忍耐し焦らず自分自身を磨き、力をつけることです。ともかく「前へ」進むこと。そこに「道」は開けます。

掃除のおばちゃん

ご卒業おめでとうございます。いつも元気な笑顔と楽しいお話ありがとうございました。そして今まで育ててくれた親や協力してくれた家族に感謝しよう。立派な社会人となる事が恩返しだよ。ガンバレー!

## 介護福祉学科2年 事例研究発表会



12月22日(土)、介護福祉学科2年次生が事例研究発表会を行いました。介護福祉学科では、2年間で計56日間の福祉施設実習を行います。実習の中で、学生は担当した利用者さんに対して介護計画を立案し実施します。実習終了後、その介護計画の立案過程や実施計画、課題等を事例研究としてまとめ発表会を行います。



須藤 佐和  
(介護福祉学科2年)

### 「特養での生活を充実して過ごすための援助 ～散歩を通して気分転換を図る～」

特別養護老人ホームでの生活を充実して過ごすための援助をテーマとして散歩をいかした介護計画を立案し実施しました。発表時、緊張から早口になってしまったり、聴いている人にもうまく伝わっているかなど不安でした。しかし、自信を持って発表することにより、人前での話ができる勇気が持てました。きちんと自分のやるべきことを確認しながら、行動することが、今後にもつながり、職場でも必要であることを学びました。今回発表で学んだことや反省すべき点を次に活かせるようにしていきたいと思います。このような場に参加できたことを感謝します。



橋本 拓也  
(介護福祉学科2年)

### 「余暇時間を充実させるための援助 ～塗り絵と裁縫、新聞たみを通して～」

私は、事例研究発表会で余暇時間を活用して利用者の日々の生活を充実したものにするための支援についてというテーマで発表しました。実習から発表までの限られた時間の中で研究を進めていくことは大変なことでした。しかし、発表会を通して自身が行った支援を振り返り、より良いケアについて学ぶことができました。また、他の学生の事例についても学ぶことができました。学生同士で、情報や意見を交わすことは、1つの考え方にとらわれることなく、広い視野を持ってケアを行うことに大切なことです。実際の現場に出てから、確かな知識と技術でケアに臨めるのではないかと思います。



信陽祭実行委員長  
櫻井 直仁  
(総合ビジネス学科2年)



## Blooming

～それぞれの花を咲かそう～

今回、「Blooming ～それぞれの花を咲かそう～」というテーマで開催されました。

ご協力いただいたスタッフ、学生、先生方、協賛協力いただいた企業・商店の方々、ご来場いただいた地域の皆様、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

今年は学内の工事の関係で、去年とは違う場所にステージを作りステージと模擬店の場所が遠く離れてしまいました。そのために、今までとは違い多くの問題・課題がありました。正直、どんな形で大学祭を行えるか予測ができませんでした。展示と模擬店との場所が遠くになってしまうこと。体育館が使えないこと。雨天時のこと。近隣の住民の皆様への騒音のことなど問題課題が山ほどありました。しかし、地元企業、住民の皆様や先生方の協力・スタッフの頑張りで大成功させることができました。学生それぞれがいろいろなことを経験し、勉強した実りある大学祭でした。



## 佐久大学看護学部の先生による卒業前講義が行われました。

エンゼルメイク(2月21日実施)とフットケア(2月22日実施)が介護福祉学科2年次生の卒業前講義として行われました。佐久大学看護学部との交流の一貫として毎年実施されています。講師は佐久大学看護学部の三石清子先生です。

この講義では相手を思いやる「心」がとても大切であることを学びます。介護従事者として社会に旅立つ2年生にとって、とても勉強になる講義でした。



## 信短での2年間を振り返って

加藤 剛広  
(総合ビジネス学科2年)



信短では、ゼミ活動や就職、資格試験対策講座など、非常に実り多く楽しい時間を過ごすことができました。大学祭など講義・勉学以外の活動も、今まで経験したことのないものだらけで、新鮮さを感じると共にこちらも非常に楽しかったです。印象の一つとして、教職員の方々と学生との距離が近かったことがあります。ゼミ担当の先生だけでなく様々な先生方に相談にのっていただきました。年の離れた方々との2年間の学生生活でしたが、自分の中で今までにない新しい経験ができました。この経験は今後の人生に役立つと確信しております。

関 寛美  
(介護福祉学科2年)



長野県厚生連  
鹿教湯三才山  
リハビリテーションセンター

短大で過ごした2年間は、私にとって多くの学びや体験を得ることができた、充実したものとなりました。講義や実習等で、時間に追われたり、落ち込んだこともありましたが、友人や先生、家族等の周りの方々に助けられ、かけがえのない日々を過ごすことができました。就職も無事に決まり、4月からは新たなスタートを切っていきたいです。授業で学んだことを活かしながら、個性を尊重しつつ、利用者さんのサポートができる介護福祉士を目指していきたいです。

石原 文太  
(総合ビジネス学科2年)



東京情報大学  
総合情報学部

信短では、これまでの人生で経験できなかったことを多く学びました。毎日のようにあった授業、サークル活動、アルバイト、友人との遊びなど、密度の濃い時間を過ごせ、時間があつという間でした。4月からは親元を離れ一人暮らしをするにあたり、家事をすべて賅っていかなければならないので不安でいっぱいでした。短大で学んだ多くの事をこれからの学生生活に役立てていければいいと思います。みんなは新社会人になりますが、私は就職活動がまた始まるので、頑張っていきたいと思っています。

山岸 奈未希  
(介護福祉学科2年)



社会福祉法人ジェイエー長野会  
特別養護老人ホームりんこの郷

信短での2年間を振り返ると、とても濃い短大生活を送ることができたと思います。予想以上に多かった授業や課題に追われ、また実習でも苦労した事もたくさんありました。けれど、そんな忙しくて苦労したことがあったから、充実感を得ることが出来、学びも多くありました。そして授業や実習の他にもサークル活動を通して信短に来てよかったと思います。この2年間で得た知識・技術は、これから介護福祉士として社会に出るための自信になったと思います。4月からは一人の社会人・介護福祉士としての自覚をもって、利用者さんの生活に笑顔が増えるよう支援していきたいです。

就職内定先

オルガン針(株)／櫻山工業(株)／カイシン工業(株)／松山技研(株)／(株)あずみ野／(株)エクセル／(株)コミヤマ／(株)タック／(株)都築製作所／(株)長野三洋化成／(株)マースウインテック／(株)丸信製作所／(株)アップル運輸／千曲バス(株)／畑八開発(株)／石森(株)／三力信和水産(株)／長野板販(株)／(株)小泉／(株)武重商会／(有)佐久平興農／(株)井上／(株)モリキ／(株)和田正通信サービス／(株)長野ダイハツモーターズ／日産プリンス長野販売(株)／ブリヂストンタイヤ信州販売(株)／ナイキファクトリーストア／(株)薬師館／(株)サンエイ／(福)平成会／(福)大樹会 ラポートあおき／(株)アサマ・ビジュアル・マスター／木曾農業協同組合／(財)群馬県交通安全協会 群馬県自動車教習所／佐久広域連合 消防本部／(医)健静会 上田病院／(医)慈泉会 相澤病院／(医)丸山会 丸山中央総合病院 介護老人保

健施設 御所苑／(医)柳泉会 介護老人保健施設メデイトピア小諸／(独)国立病院機構 小諸高原病院／長野県厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター／(福)浅間福祉会 介護老人保健施設しののめの里／(福)佐久平福祉会／(福)佐久福寿園／(福)サン・ビジョン／(福)ジェイエー長野会 特別養護老人ホームりんごの郷／(福)四徳会 特別養護老人ホームグリーンヒル／(福)大樹会 ベルポートまるこ／(福)博悠会 介護老人保健施設フランスズ悠とぐら／(福)睦会 総合福祉施設 須坂やすらぎの園／(福)望月悠玄福祉会 特別養護老人ホーム結いの家／(福)横浜社会福祉協会 指定障害者支援施設千曲園／(福)里仁会 特別養護老人ホームさくら苑／(福)のぞみ福祉協会

進学

東京情報大学 総合情報学部／長野大学 社会福祉学部

第47回全国私立短期大学体育大会  
第18回長野県私立短期大学体育大会



大会結果

全国大会は、8月6日～9日まで東京都を中心に開催されました。本学からは男女バレーボール、男子バスケットボール、女子バドミントン、男子卓球、男子ソフトテニスの6種目に出場しました。男子バレーボールは見事13連覇、17回目の全国制覇を達成しました。男子ソフトテニスの団体戦では準優勝、個人戦で3位の成績を取めました。

県大会は9月15日(土)、長野市を会場に行われました。本学からは男女バレーボール、男子バスケットボール、女子バドミントンの4種目に出場し、男子バレーボールが14回目の優勝、女子バレーボールが惜しくも準優勝、女子バドミントンが昨年に続き3位の成績を取めました。大会結果は次のとおり。

●男子バレーボール部  
全国大会：優勝／県大会：優勝  
●女子バレーボール部  
全国大会：Aブロックベスト16  
県大会：準優勝

●男子バスケットボール部  
全国大会：1回戦敗退／県大会：4位  
●バドミントンサークル  
全国大会：女子団体戦個人戦1回戦敗退  
県大会：女子団体戦3位

●テニスサークル(ソフトテニス)  
全国大会：男子団体戦 準優勝、  
男子個人戦(傘木・木下) 3位  
●卓球サークル  
全国大会：男子個人戦(石原) ベスト8



東日本大震災ボランティアの報告集ができあがりました。

義援金報告

第1回目 H24.8.18 / 180,000円  
第2回目 H25.1.9 / 55,635円

8月17日～19日に佐久大学看護学部の学生10名と短期大学部介護福祉学科の学生17名が宮城県石巻市を訪ねました。そこで見たこと、聞いたこと、感じたことをつづった報告集ができあがりました。今回のボランティアをコーディネートしてくださった石巻中央ライオンズクラブの阿部さんから『小さなことでもいいから被災地のためにできることは何か考えてください』と問いかけられました。自分に何ができるのか、正直わからない学生も多かったと思います。でも、この報告集により自分が感じたことを第三者へ伝えるということも、被災地のためにできる行動の一つになるかもしれません。

この報告集は本学生に無料で配布します。希望する学生は学事課までお問い合わせください。

なお、今回のボランティア活動の一環として、学生の皆さん、先生方、地域の皆さんから多くの義援金を預かりました。石巻中央ライオンズクラブを通して、被災地のために有効的に活用していただきます。



長野県内7大学合同企画

「AIDtoSAKAE ～信州の絆を見せよう～」

平成24年10月27日(土)・28日(日)開催の第5回秋桜祭・第25回信陽祭で行いました、長野県内7大学合同企画「AID to SAKAE ～信州の絆を見せよう～」での募金活動へは、多くの皆様に御協力いただき誠にありがとうございました。

集まった募金額86,682円になりましたことをご報告いたします。なお、この募金は平成24年12月21日(金)に栄村へ大学祭実行委員長が直接お届けしました。

募金報告

信陽会だより

Vol.30

◇平成24年度 信陽会総会終わる

去る平成24年10月27日(土)午後4時30分より、本学4号館4103講義室において、平成24年度総会が開催されました。当日は卒業生の他、懐かしい先生方も大勢お越しくださいました。今年度の総会では、次の議案が審議・承認されました。

1. 平成23年度事業報告および収支決算報告
2. 平成24年度事業計画および収支予算案

また、総会終了後に開催された懇親会は、終始和やかな雰囲気の中、学生時代の思い出や職場の話など、相互の親睦を深めることができました。次年度も信陽祭期間中の土曜日(平成25年10月26日)に開催を予定していますので、より多くの卒業生の皆さんの参加をお待ちしています。

※信陽会だよりに関するご意見・ご要望等ありましたら、佐久大学信州短期大学部内信陽会事務局までお願いいたします。

編集後記

「春は名のみの風の寒さや」  
『早春賦』の出だしの部分です。この歌は発表されてから百年もの長い間、歌い継がれています。この歌詞は雪丸一昌が安曇野を訪れて、雪解けの光景に心打たれて作ったそうです。若い世代の皆さんは、この歌を口ずさんだことがありますか。

歌詞の理解が難しいのですが一部紹介します。二番に「氷解け去り葎は角ぐむ／さては時ぞと思ふあやにく／今日もきのうも雪の空」。三番に「春と聞かねば知らずありしを／聞けば急がるる胸の思ひを」と春を待ち望む気持ちが詠われています。去年も、今年も冬は寒く積雪の多い年でした。冬が来れば厳しいほど、春の到来が待ち遠しくなります。

現在私たちは様々な難問に直面し、冬の間ずっとたどりに立たされているようです。とりわけ東日本大震災、東京電力福島原子力発電所の問題は解決に向かってはいるのか一向に見えてきません。財政再建、「社会保障と税制の一体改革」、代替エネルギー、失業・雇用問題、まだまだ挙げれば次々に問題や課題が出てきます。数多くの課題が山積していますが、冬から春に向かって新たな第一歩を踏み出す卒業生の皆さん、「聞けば急がるる胸の思ひを」と詠われているように、困難に立ち向かうことが待ち遠しいというくらいに気構えで荒波の大海に船出して行って下さい。卒業生に贈る言葉になってしまいましたが、切なる思いで記しました。

(竹下良太郎)